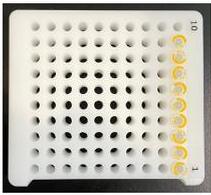
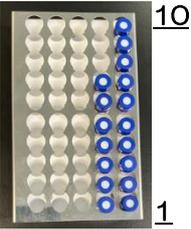


日常の運転とメンテナンス

○運転前の確認項目

装置運転前に以下の項目をご確認ください。(各項目の赤字番号は「装置の日常確認・メンテナンス箇所」に対応)

<p><input type="checkbox"/> 溶媒の確認・・・①</p> <ul style="list-style-type: none"> 残量の確認 チューブの浮き上がり 溶媒の入れ替え 	<p><input type="checkbox"/> ノズル配管の固定・・・②</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管の絡まり、引っ掛かりが無いことを確認 	<p><input type="checkbox"/> 固相の確認・・・③</p> <ul style="list-style-type: none"> 検体数分の固相の確認 固相廃棄ボックスの確認 (廃棄ボックス内の固相は 100 個使用ごとに処分) 
<p><input type="checkbox"/> サンプルの確認・・・④</p> <ul style="list-style-type: none"> 検体番号の確認 セプタムのスリット確認  	<p><input type="checkbox"/> 窒素ガスの圧力確認・・・⑤ (オプション部品)</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力メータの数値を確認 (弁閉塞時に 0.4 MPa 以上あるかを確認) 	
<p><input type="checkbox"/> 送液時の確認 (メンテナンスメニューの「溶媒の入れ替え」を実行)</p> <ul style="list-style-type: none"> シリンジの増し締め・・・⑥ シリンジ内のエア噛み ノズル先端からの液吐出し確認 (配管、ニードルの詰まりを確認)・・・② シリンジ、バルブの配管接続部からの液漏れ (シリンジのネジ、配管ナットの緩みを確認)    		

週一回のメンテナンス

□ シリンジの洗浄・・・⑥

- ・プランジャーに汚れが見られる場合は、アセトンなどを染み込ませたキムワイプで拭き取ってください
- ・バレル内部に汚れが見られる場合は、アセトンなどに漬け、超音波洗浄してください

(50 μ L, 100 μ Lのシリンジは汚れやすいため、定期的に拭き取り洗浄してください)



シリンジの取り外し、交換方法はメンテナンスマニュアルの「シリンジの交換方法」を参照してください

□ 溶出ポートの洗浄・・・⑦

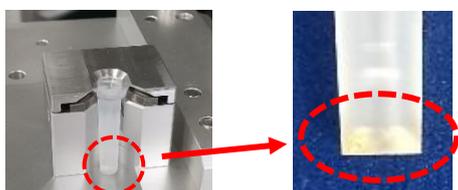
- ・溶出ポートの配管を外し、ポート内側をアセトンなどを染み込ませた綿棒などで拭き取ってください



□ 洗浄カートリッジの交換・・・⑧

- ・ニードル洗浄用のカートリッジの消耗、汚れがないかを確認してください
- ・消耗や汚れが残っている場合は、新品のカートリッジと交換してください

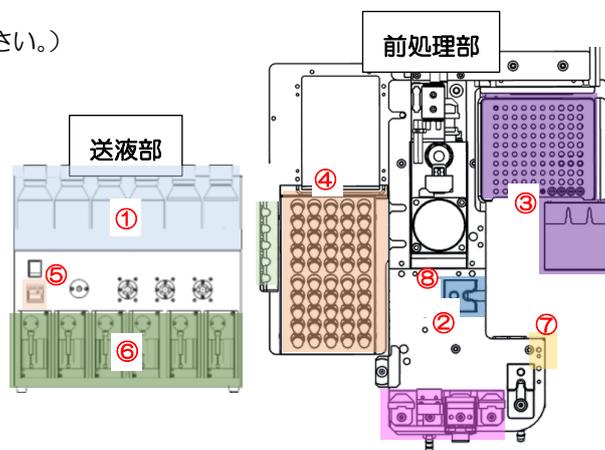
(カートリッジは 100 回運転ごとの交換を推奨)



○消耗部品の定期交換目安

(下記内容は目安ですので、実際の使用状況に応じて交換してください。)

- ・PA-5010-003 Flash-SPE 洗浄用カートリッジ: 100 回毎
- ・PB-4040-004 SGI 用バッテリー アーム用 : 2年毎
- ・AB-4040-024 ロボット用メモリーバッテリー : 4年毎



装置の日常確認・メンテナンス箇所